

新型コロナウイルス感染症 抗ウイルス薬・抗ウイルス療法薬 ガイドライン・声明
 抗血栓薬 看護師 理学療法士 医の倫理 非小細胞肺がん 乳がん

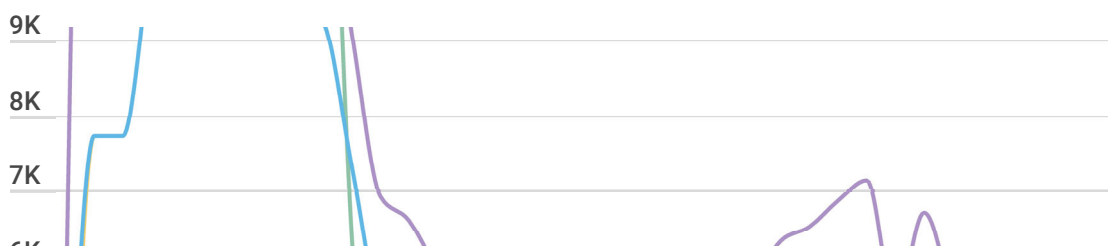
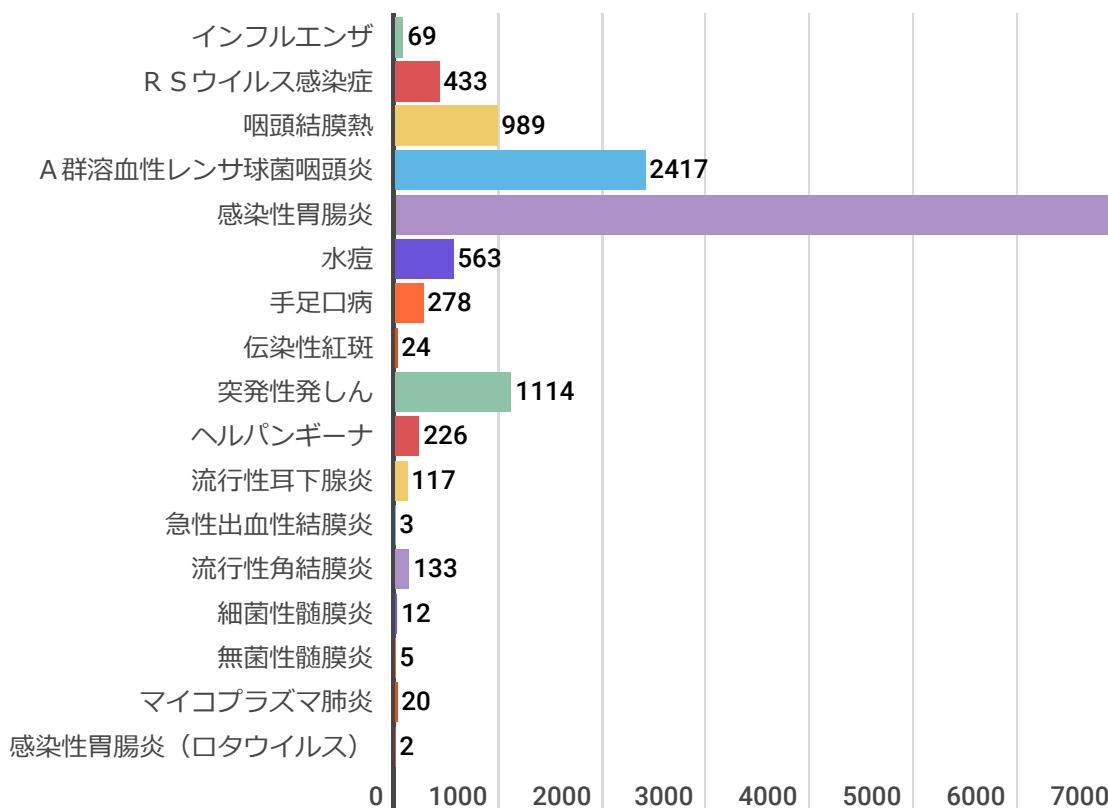
咽頭結膜炎、4週連続で増加

【感染症動向調査第52週：2020年12月21～27日】

© 2021年01月12日 16:30

[1コメント](#)

国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査 週報「定点把握疾患（週報告）、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。



感染症WeeklyReport2 Infogram

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

2020年12月21～27日は定点把握疾患のうち、感染性胃腸炎の報告数が最も多く、9,969例であった。続いてA群溶連菌咽頭炎が2,417例、突発性発疹が1,114例の順だった。インフルエンザは69例で先週（70例）よりも1例減少したが、2019年同週（11万5,002例）に比べると依然低調であった。また、咽頭結膜熱は4週連続（第49週841例、第50週936例、第51週973例、第52週989例）で増加していた。

※2019年同週の上位3位は、インフルエンザ11万5,002例、感染性胃腸炎2万2,894例、A群溶連菌咽頭炎1万364例

●**感染性胃腸炎**：前週（9,217例）から752例増加し、1万例に近づいた。報告数が多かったのは、熊本県924例、福岡県873例、東京都791例の順であった。また鹿児島県593例、長崎県436例、大分県333例と、九州での報告が目立った。

●**A群溶連菌咽頭炎**：前週（2,499例）から82例減少した。報告数が多かったのは、福岡県218例、北海道153例、新潟県120例の順であった。

●**突発性発疹**：前週（1,199例）から85例減少した。報告数が多かったのは、東京都118例、神奈川県73例、埼玉県59例の順で、今週も関東圏に集中した。

(編集部)

関連タグ

[👉 感染症](#) [👉 A群溶連菌咽頭炎](#) [👉 インフルエンザ](#) [👉 咽頭結膜熱](#) [👉 国立感染症研究所](#)
[👉 感染性胃腸炎](#) [👉 突発性発疹](#)